

東京都東部の庭園 品川区

カシャリ！庭園めぐりの旅

若い頃からひとり旅が好きで、経営コンサルタントとして独立してからは、仕事の合間に旅をしたのか、旅行の合間に仕事をしたのかわかりませんが、カメラをぶら下げて【カシャリ！ひとり旅】をしてきました。

旅のテーマは寺社や庭園めぐりです。

日本には「日本庭園」と呼ばれる庭園だけではなく、「イングリッシュガーデン」など、海外の庭園形式をした庭園も多数あります。寺社を訪れたときに、想定していなかったところに、庭園を発見することもあります。

下手の横好きで、【カシャリ！ひとり旅】を続けていますが、その一環で訪れた庭園を順次紹介してまいりたいと思います。

動画では、庭園の詳細説明は冗長になってしまいがちです。それをカバーするために写真も紹介し、その中で、動画では説明し切れていない部分を補ってくださると幸いです。

仕事のついでに行ったときは、スマホやコンパクトカメラで撮影していますので画質があまりよくなかったり、ピンボケであったりする写真・映像も含まれています。

また、アングルやフレームなどを十分に検討した写真ではなく、カシャリ、カシャリとシャッターを押した、私の限られた感性での写真ですので、たいした作品ではありません。

それらをベースにして、別途撮影した動画を加えてムービーとした作品を紹介しています。

私の旅の足跡のひとつとして作成していますので、独断と偏見でもって編集した駄作であることをご容赦くださるようお願いします。

【注】

【カシャリ！庭園めぐりの旅】の当インデックスページは、改訂作業中で、お見苦しいことをご容赦くださるようお願いします。

ユーチューブで見る [【カシャリ！庭園めぐりの旅】](#)

写真集は、下記URLよりご覧いただくことができます。

静止画：<http://www.glomacanj.com/butsuzou/meisho/indexmeisho.htm>

映像：<http://www.glomacanj.com/butsuzou/meisho/indexmovie.htm>

【注】

この資料は、【Wikipedia】などネット情報を編集して掲載しています。
紹介している庭園等は、まだ、私が訪れていないところも含んでいます。
写真等は、準備でき次第アップロード致します。
映像集と庭園めぐりは、重複した映像が含まれています

庭園 33 品川区

大森貝塚遺跡庭園

Omori Shell Mounds, Shinagawa-ku, Tokyo

<https://oniwa.garden/omori-shell-mounds/>

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/jigyoku/06/historyhp/kaizuka/kaizuka.html>

明治時代にモース博士により日本で初めて学術的発掘調査が行われた“日本考古学発祥の地”。国指定史跡

「大森貝塚」（おおもりかいづか）は東京のJR京浜東北線・大森駅～大井町駅間で発見された縄文時代の貝塚。国指定史跡。「大森貝塚遺跡庭園」はそんな大森貝塚に親しむために1996年（平成8年）に開園した区立庭園で、先に紹介した『品川区立品川歴史館』からは徒歩5分ほど。

「大森貝塚」は1877年（明治10年）、アメリカから来日した碩学／動物学者：エドワード・モースにより発見され、日本初の学術的な発掘調査が行われた場所。そのため別名“モース貝塚”とも呼ばれ、また“日本考古学発祥の地”と言われます。その際に発掘された貝殻や土器・土偶・骨などは東京大学に保存され、「大森貝塚出土品」として国指定重要文化財。

大森貝塚遺跡庭園は――遊具こそないけど、ミスト噴水や登って楽しむ“地層の回廊”など、庭園というよりは公園に近い印象。

園内には貝塚展示ブースや貝塚学習広場、貝塚や縄文時代について学べる展示パネル、そして大森貝塚碑やモース博士の胸像などが点在しています。

もう一つ、公園から3分ほどJR大森駅側に向かった「NTTデータ大森山王ビル」の敷地にも大森貝塚碑があります。

JR京浜東北線 大森
駅より徒歩 8分
京急本線 立会川駅
・大森海岸駅より
徒歩 20分
品川駅・大井町駅
・大森駅・池上駅
・蒲田駅から路線
バス「大森操車所」
バス停下車 徒歩 1
分



〒140-0014 東京都品川区大井6丁目21-6

品川歴史館庭園・茶室“松滴庵”

<https://oniwa.garden/shinagawa-historical-museum-tokyo/>

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/jigyoku/06/historyhp/hsindex.html>

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/jigyoku/06/historyhp/sisestu/shoin.html>

安田財閥・安田善助の邸宅をルーツとし、“鬼十則”を定めた電通・吉田秀雄も所有した近代の庭園と茶室“松滴庵”

「品川歴史館」(しながわれきしかん)は品川区立の歴史博物館。かつて近代にはこの地に安田財閥・安田善助が邸宅をかまえ、当時作庭された庭園の一部と茶室“松滴庵”が現在も残ります。

2021年8月、新型コロナ以降で初めて東京へ。主な目的はパビリオン・トウキョウでの『茶室 五庵』や『kudan house』だったけど、ここも「次回東京行く時に必ず行こう」と約2年間思い続けていた場所でした。

というのも、自分が東京から転居前に最後に訪れた庭園が『大田区立山王草堂記念館』、ここからそう離れてもいない。その時に「まあいいや次回で、向こう着くの遅くなりそうだし」

と思ったんだけど…そこから2年越し！

文字通り、品川区の歴史に関する展示や資料が保存されている品川歴史館。1985年（昭和60年）に開館する以前は、この地は昭和初期に建立された安田財閥・安田善助の邸宅があり、戦後はその和風建築を残したまま電通による『吉田秀雄記念館』として用いられました。“鬼十則”で有名な方ですね、知ってますよ…。

庭園に面した形で残る“書院”は安田邸や吉田記念館として用いられた和風建築の部材を再利用して復元されたもの。

またその書院と向き合う茶室“松滴庵”（しょうてきあん）も安田善助邸の時代に建立されたもので、そのモチーフは現在トーハク（『東京国立博物館庭園』）に残る、武将茶人金森宗和好みの茶室“六窓庵”。松滴庵には『根津美術館』の根津嘉一郎や後の首相・高橋是清も訪れたそう。現在は老朽化につき、結界の外からの外観の見学のみ。

茶室の露地庭に加えて、芝庭と2本の枯流れが主体の庭園も当時から残されたもの。『菊池寛実記念 智美術館庭園』に似た、戦前東京スタイルを感じさせる庭園。

庭園の片隅にある水琴窟も安田邸時代に造られ、歴史館の建設の際に発見されたのを活かされたもの。そして一つ、建設の際に発見されたのが5～7世紀の竪穴住居跡（大井鹿島遺跡）。その展示が庭園の一角に残されているのもここならではの…。

館内の展示では東海道・品川宿の復元模型や、徒歩5分の場所にある国指定史跡『大森貝塚』に関する展示も。

個人的に面白かったのは大名屋敷関連…熊本藩・戸越屋敷（現『戸越公園』）の庭園も含めた絵図や、現『御殿山庭園』の一带にあった徳川家の『品川御殿』について。残念ながら松平不昧の『大崎園』に関する展示はなかったけど、資料を所蔵はしてそうだなあ…。“映える施設”ではないけど、庭園のみならず資料を探しにまた訪れたい場所！

アクセス・住所 / Locations

JR京浜東北線 大森駅より徒歩13分・大井町駅より徒歩15分強

京急本線 立会川駅より徒歩15分

品川駅・大井町駅・大森駅・池上駅・蒲田駅から路線バス「鹿島神社前」バス停下車
徒歩2分

〒140-0014 東京都品川区大井6丁目11-1



御殿山庭園

Gotenyama Garden, Shinagawa-ku, Tokyo

2019年6月1日更新

御殿山庭園について 「御殿山庭園」(ごてんやまていえん)はJR品川駅の南に位置する「御殿山トラストシティ」内にある池泉回遊式の和風庭園。庭園内には先日プリツカー賞を受賞した世界的建築家・磯崎新の設計による茶室「有時庵」があります。初めて訪…

旧島津公爵邸庭園

Former Duke of Shimazu House's Garden, Shinagawa-ku, Tokyo

2019年2月14日更新

旧島津公爵邸庭園について 【通常非公開／特別公開日あり】 「旧島津公爵邸」(きゅうしまづこうしゃくてい)はジョサイア・コンドル設計による大正時代の洋館で、品川区・東五反田の「清泉女子大学」構内にあり「旧島津公爵家袖ヶ崎本邸洋館(清泉女子大学…

池田山公園

Ikedayama Park, Shinagawa-ku, Tokyo

2019年2月6日更新

池田山公園について 「池田山公園」(いけだやまこうえん)は江戸時代より岡山藩主・池田家の下屋敷があった場所で、現在は品川区立の公園(最寄は目黒駅)。池田家の下屋敷が造られたのは江戸時代初期。現在も残る池泉回遊式庭園はその当時に屋敷の庭園と…

戸越公園

Togoshi Park, Shinagawa-ku, Tokyo

2018年4月22日更新

品川区立戸越公園(熊本藩戸越屋敷跡)について 「戸越公園」(とごしこうえん)は品川区立公園。江戸時代は熊本藩主・細川家の江戸下屋敷に始まり、伊予松山藩や石見浜田藩、大名茶人として知られる松江藩・松平不昧など大名の江戸屋敷があった場所。三井…

【注】

ネット情報を掲載したもの以外の著作権は、下記にあります

c copyright N. Imai All rights reserved